

令和5年度 いのちの授業 事例集（幼稚園こども園）【表現】

掲載数

3

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 県西	年長	表現	誕生会	自分が生まれた時にたくさんの人が喜んでくれたことを想像してほしい、と考え、誕生会で絵本「あやちゃんのうまれたひ」を読み聞かせた。読み終わると、「パパもうれしかったかな？」「おなかのなかって、こえがきこえるのかな」と思ったことを言葉にする幼児の姿があった。参加していた保護者からも「生まれた時のことを思い出して泣きそうになりました」という言葉があり、誕生の喜びをみんなで共有することができた。	絵本「あやちゃんのうまれたひ」 浜田桂子 作・絵 福音館書店
2 県西	年中	表現	モグラの死	戸外で死んでしまったモグラを見つけ、数名の幼児が集まっていた。「動かない。食べられちゃったのかな？」「可哀想だね。」悲しそうな表情でモグラを見つめていた。教師が「そうだね、このままだと可哀想だね。」というと、「埋めてあげよう！」と幼児が提案してきた。踏まれない場所を選び、モグラを土に埋めると、数名の幼児が花を摘んできて供えた。教師が「きとお空で喜んでね。」というと、「そうだね。」と嬉しそうに言った。死んでしまったモグラに弔いの気持ちをもつことができた。	
3 県西	年少	表現	触ってみたい	入園して1ヶ月が過ぎた頃、園庭の芝の上を何かが動いている事に一人の園児が気づいた。アマガエルである。初めて間近かで見ただろう。歓声を上げて追いかけてきた。その姿に興味を持った数人の幼児が集まり、同じように追いかけてまわし始めた。しばらくすると初めに見つけた幼児が、短い枝を見つけてきてカエルをつつき始めた。段々と弱っていく姿に「痛いと思うよ」と教師が声をかけると、「触りたいけど、怖くて触れないんだもん」と答えた。すると「僕、触れるよ」と一緒にいた子がカエルを捕まえた。「凄いね。カエルが触れるなんて」「触ってみたい」「いいよ持っていてあげるから」人さし指で初めてカエルに触れた。「ドクって」自分で触ってみて出た言葉であった。「ちょっとだけ可愛いって思った。」自分で触れてみて感じた気持ちを伝えることができた。	